

AVX CPU命令がないために発生するUnity Connection 15のアップグレード失敗のトラブルシューティング

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[根本原因の分析:](#)

[ソリューション](#)

[ステップ1:AVX CPU命令が使用可能であることを確認する](#)

[ステップ2:VMware EVC設定の確認](#)

[ステップ3:VMハードウェアの互換性の確認](#)

[ステップ4:AVX公開の修正](#)

[ステップ5: サブスクライバアップグレードの再試行](#)

はじめに

このドキュメントでは、サブスクライバでCisco Unity Connectionの15su2から15su4へのアップグレードに関するdblnit-plugin generic Errorをトラブルシューティングする方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unity Connection (CUC)
- CLIプラットフォーム
- 仮想化環境

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- パブリッシャおよびサブスクライバノードを含むUnity Connectionクラスタ
- ソースバージョン : Unity Connection 15.0.1(SU2)
- ターゲットバージョン : Unity Connection 15.0.1(SU4)
- VMware仮想化環境
- パブリッシャノードのアップグレードが正常に完了しました
- インストール後フェーズでのサブスクライバノードのアップグレードの失敗

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

サブスクライバノードでの15.0.1(SU2)から15.0.1(SU4)へのUnity Connectionのアップグレードが、一般的なエラーメッセージで失敗します。パブリッシャノードは正常にアップグレードされるが、Informix DBMSのインストール後のフェーズでサブスクライバアップグレードが失敗する。アップグレードステータスを確認すると、次のエラーが表示されます。

```
admin:utils system upgrade status
```

```
An error has occurred but no messages on the upgrade failure are available . Please review the install log
```

```
Upgrade status: Failed
```

```
Upgrade file: UCSInstall_CUC_15.0.1.14900-45.sha512.iso
```

```
Upgrade log: install_log_2026-07-31.20.52.39.log
```

インストールログは、Informix DBMSのインストール後の段階で特定のエラーを明らかにしますが、ee_edition.jarプロセスがエラーコード134を返した場合に発生する主なエラーです。複製エラーは、問題のトラブルシューティング時にも確認できます。

```
07/31/2026 20:28:44 component_install|(CAPTURE) Fri Jul 31 20:28:44 2026 dbinit-plugin.run ERROR: ER
```

根本原因の分析：

アップグレードの失敗は、VMware EVCモードまたはCPU互換性マスクが原因で、AVX CPUの手順がUnity ConnectionサブスクリバVMに公開されないことが原因です。Unity Connection 15.0.1(SU3)以降のバージョンでは、Informix DBMSのインストール後のフェーズでAVX CPU命令を必要とする新しいJENTエントロピーパッケージが導入されました。

このエラーは、データベースの初期化中にee_edition.jarプロセスの実行が試行され、必要なCPU命令が使用できないことを示すエラーコード134が返された場合に発生します。これは、AVXの手順が仮想マシンに適切に公開されていない場合に、CUCM、CUC、およびCERを15SU3以降にアップグレードする際に影響を与える既知の問題です。

この問題は、Cisco Bug ID [CSCwr26988](#)にも記載されています。

ソリューション

この問題は、AVX CPUの命令がサブスクリバVMに正しく公開されると解決されます。この障害は、Unity Connection 15.0.1(SU3)以降のバージョンでは、Informix DBMSのインストール時に使用される新しいJENT entropyパッケージのAVX CPU命令が必要であるために発生します。

ステップ1:AVX CPU命令が使用可能であることを確認する

障害が発生したサブスクリバVM内にAVX命令が表示されるかどうかを確認します。ハードウェア仕様を確認します。

```
show hardware
```

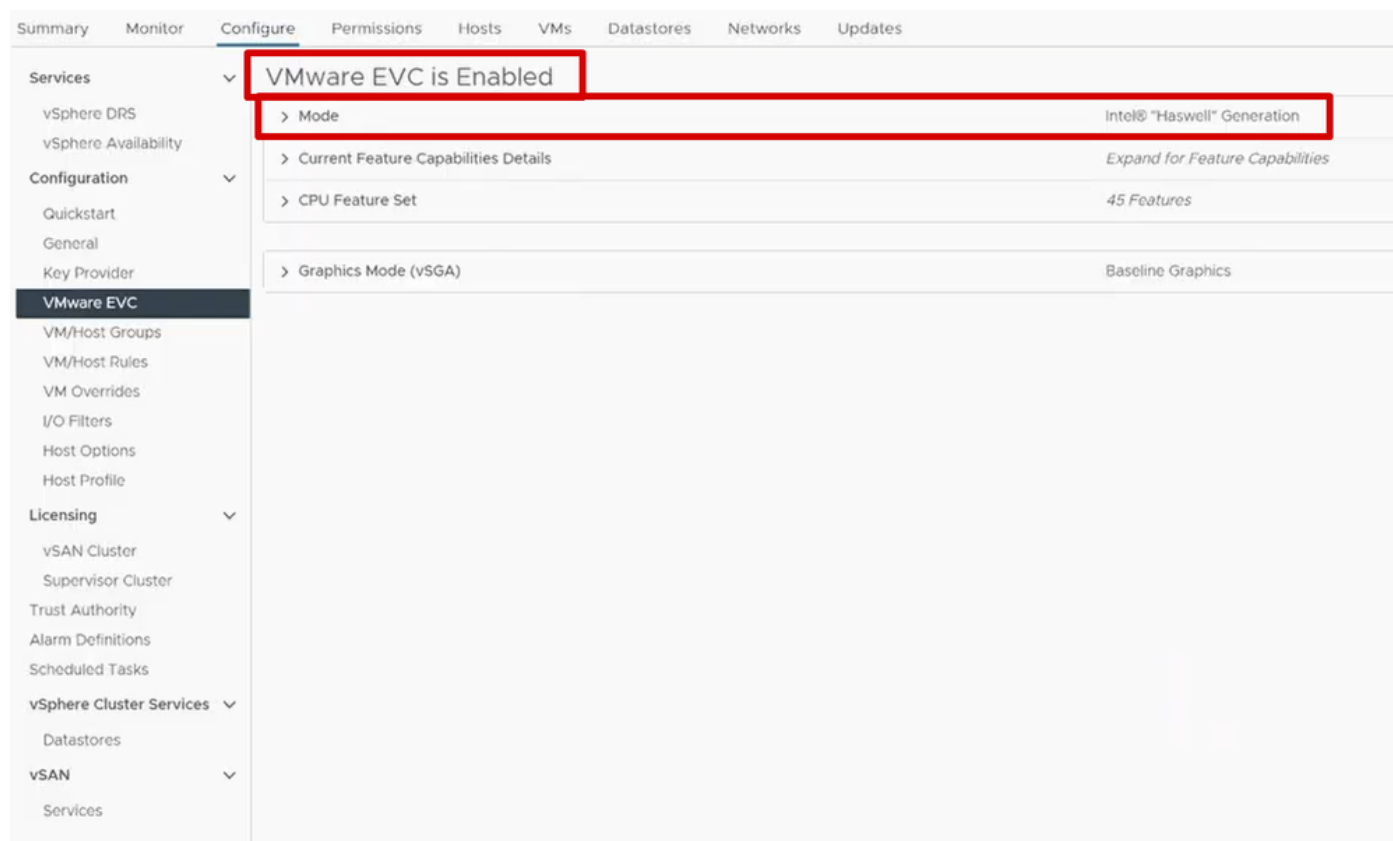
CPU機能のリストでAVXのサポートを探します。AVXが存在しない場合は、VMware構成の検証手順に進みます。

ステップ2:VMware EVC設定の確認

vSphere Clientで、次の検証を実行します。

ESXi host or cluster > Configure > VMware EVCの順に移動します。

設定したEVCモードを確認します。Intelの「Westmere」世代およびそれ以前の世代は、AVXに対応していません。EVCモードは、AVXをサポートする世代（Sandy Bridgeまたはハードウェアの世代に依存する新しい世代）に設定する必要があります。



VMware EVCがIntel Haswellモードで有効になっている

ステップ3:VMハードウェアの互換性の確認

VMの設定を確認します。

- VMハードウェア互換性レベル
- CPU互換性マスクがVMに設定されていないことを確認します。
- パブリッシャとサブスクライバが異なるESXiクラスタでホストされていないか、または互換性のないEVC設定のホストではないことを確認します

ステップ4:AVX公開の修正

EVCモードまたはCPU表示設定を修正した後：

1. サブスクライバVMの電源を完全に再投入します。
2. ハードウェア/CPU出力を再確認し、AVXが表示されていることを確認します
3. show hardwareコマンドを使用して、CLI経由でAVXの手順が正しく表示されていることを確認します。

ステップ5：サブスクライバアップグレードの再試行

VMにAVXが存在することが確認されたら、次の手順を実行します。

1. ノード間のクラスタレプリケーションが正常であることを確認する
2. サブスクライバノードで新規アップグレードの試行を開始します
3. インストールログを通じてアップグレードプロセスを監視する

注：前回のアップグレード試行で非アクティブパーティションが無効になったため、再試行を再開するのではなく、新たに開始する必要があります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。